

中学校第1学年 社会科(地理的分野) 学習指導案

期 日 平成23年10月6日(木)第5校時
 場 所 天草市立五和西中学校 多目的教室
 指導者 教諭 松本 哲也

1 単元名

「身近な地域を調べよう」(教育出版)

2 単元について

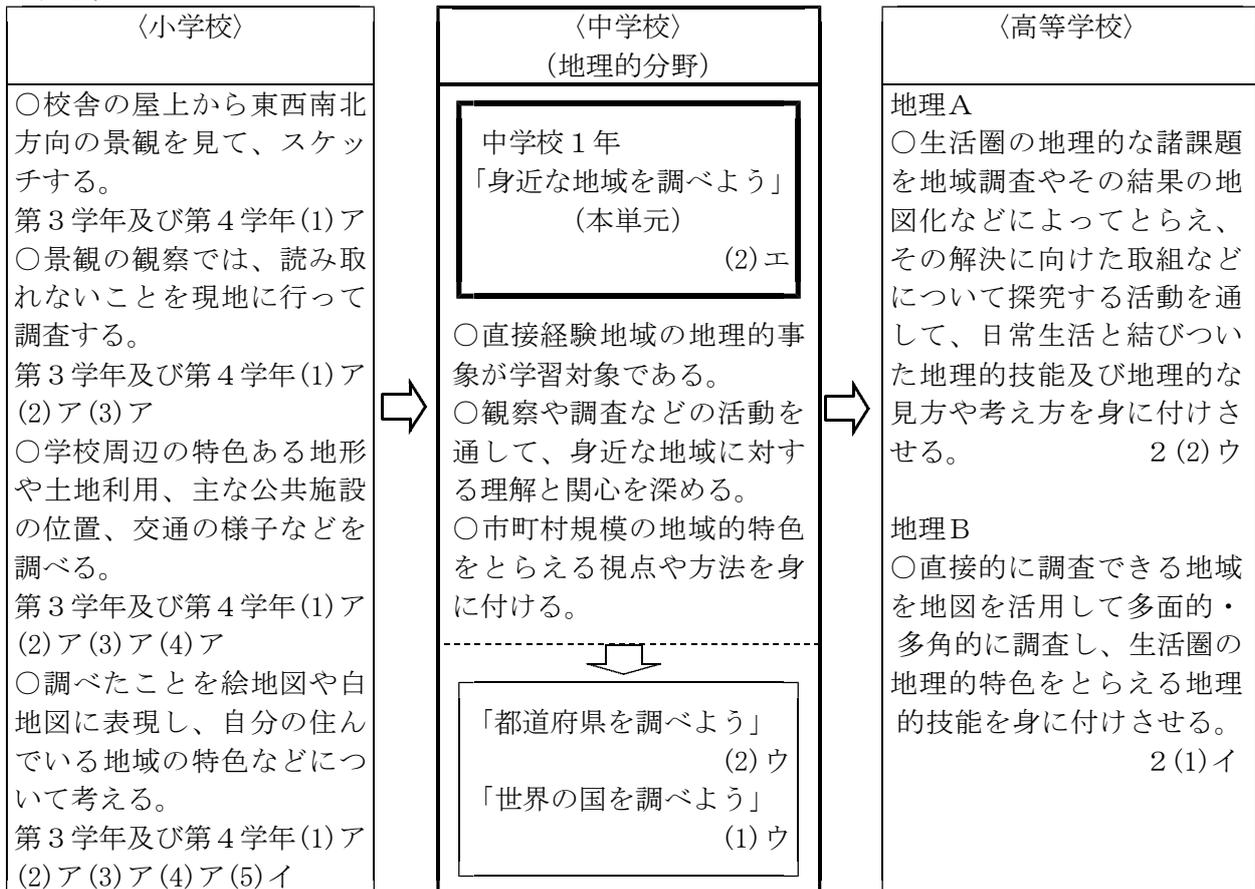
(1) 単元観

本単元は、地理的分野の目標(4)「地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる」ことを受け、「身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を高めるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる」ことを目標としている。

本単元では、生活体験地域である身近な地域を題材として、情報の収集、課題の発見、予想・仮設の設定、調査、検証・まとめなどの課題解決の過程を理解し、実際に活用できる力をつけさせたいと考える。そのためには、まず、地図や表、グラフからの情報を読み取り、それら読み取った情報を比較、関連させた分析、情報を整理、あるいは分析した結果を効果的に表現するための地図やデータの作成などの技能、及びそれらの技能を活用しながら身近な地域の事象を考察する力をつけさせる必要がある。

また、生徒が生活している地域に対する理解と関心を深めさせるとともに、調査に意欲的に取り組み、その結果を地理的なまとめ方、発表の仕方として身に付けられるようにしていきたい。

(2) 系統観



(3) 生徒観

本学級は男子25人、女子15人、計40人で構成されている。本単元での生徒の実態を次のように分析した(学級生徒40人への事前アンケート、レディネステスト、1学期の評価の結果から)。

授業中は、真剣に話を聞き課題解決へ向けて意欲的に努力する生徒が見られるが、集中力に欠ける生徒も数名見られる。個人差が大きく、自分の意見を班や全体の場で発表することに消極的な女子生徒が見られる。本単元及び本時に関するアンケートの結果は、以下の通りである。

- | | | | | | |
|---|----------|------------|-----------|----------|-----|
| ○天草地域の範囲や五和町の位置を正確に白地図に表すことができる。 | | | | | |
| ・天草地域の範囲 | 正しい 3人、 | ほぼ正しい 10人、 | 正しくない 27人 | | |
| ・五和町の位置 | 正しい 20人、 | ほぼ正しい 3人、 | 正しくない 17人 | | |
| ○天草地域の宝は何だと思いますか(記述式、複数回答可)。 | | | | | |
| ・自然(海を含む) | 25人 | ・歴史や文化 | 4人 | ・花や水がきれい | 2人 |
| ・御所浦町の化石 | 1人 | ・森や水が豊か | 1人 | ・わからない | 2人 |
| ・資源が豊か | 1人 | ・全て | 1人 | | |
| ○課題を解決するために、あなたはどのような手段、方法で調べましたか(複数回答可)。
(課題を解決するために調査活動を行い、レポートにまとめたり、発表した経験のある生徒:40人中23人) | | | | | |
| ・学校の図書館 | 18人 | ・学校外の図書館 | 1人 | ・インターネット | 17人 |
| ・現地でのインタビュー | 3人 | ・博物館や資料館 | 2人 | ・その他 | 3人 |
| ○課題を解決する際に、どのようなまとめ方をしましたか(複数回答可)。 | | | | | |
| ・レポートにまとめた | 4人 | ・新聞などにまとめた | 6人 | ・その他 | 4人 |
| ・広用紙にまとめ発表した | 14人 | | | | |

このことから、天草地域に関する生徒の興味・関心はさほど高くなく、関心も生活地域である五和町を中心とした狭い範囲に限定されていることがわかる。また、課題を解決して考えをまとめる体験も多くなく、統計資料の読み取りや考察、まとめといった活動に慣れていない生徒が多い。また、生徒の情報活用能力に差があるように思われるので、基礎的・基本的な内容を繰り返し学習に取り入れていきたい。

(4) 指導観

- 身近な地域に見られる社会的事象に気づかせ、生徒の問題意識を向上させ、意欲的に学習に取り組める問題解決的な学習を実施する。
- 資料提示を工夫し、複数の資料から必要な情報を読み取らせるとともに、読み取った事実を手がかりとして更に考察したり判断したりする活動を通して思考力・判断力を育てられるようにする。
- 資料から分かったことや考えたことを学習シートに書かせることで情報を整理させ思考する過程が見えるようにする。
- 一つの資料から読み取った情報だけでなく、いくつかの資料と比較関連させて、結論を導き出すようにする。
- 班で友だちと意見交換したり、共同作業する体験的な学習を通して、主体的に考えを広げたり、深めたりする。

Cプロジェクト 情報活用能力の育成の視点から

本単元を通して育てたい情報活用能力は、「情報をいろいろな見方で分析したり、整理したりすること」や「収集した情報を基にそれらと比較・関連させることで、新たな情報をつくり出すこと」である。そのために、学習課題に関する多様な資料を提供し、それらの比較等を通して課題解決につながるような授業を構成する。また、資料から読み取った情報をもとに、それらを目的に照らしながら関連させ表現できるようにするための効果的な資料づくりの活動を学習過程に配置する。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を高めるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。
社会的事象への関心・意欲・態度	①身近な地域の調査を行う際の視点や方法を基に、地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。
社会的な思考・判断・表現	①身近な地域の地理的事象から課題を見だし、その過程や結果を適切に表現している。 ②身近な地域の地域的特色や地域の課題を、地域の調査を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。 ③身近な地域の調査を行う際の視点や方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	①身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関する様々な資料を収集している。 ②収集した資料から、身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題について有用な情報を適切に選択している。 ③適切に選択した情報を基に、身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。
社会的事象についての知識・理解	①身近な地域の調査について、調査する地域の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。 ②身近な地域の調査について、地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けている。

4 指導・評価の計画（14時間取扱い 本時1／14）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※プロジェクトの視点から	評価基準(基準B) (評価方法)
1	1 (本時)	○身近な地域に関する地域の事象を資料を活用して読み取り、課題について考える。	・地域の特徴的な事象を題材として課題を設定し、その課題を解決するまでの過程を経験させることで単元の学習の目的及び概要をとらえさせる。 ・生徒の日常の経験から予想できるような身近な題材を取り上げることで、自分たちが住む地域への関心を高めさせる。 ※資料を比較・関連させ新たな情報として地図資料をつくり、説明できるよう支援する。	思考・判断・表現②（観察・発表） 地域的特色を多面的・多角的に考察し、その考えを発表用の資料にまとめている。
	2	○身近な地域の地形図など、資料を使って地域を探る。	・縮尺・等高線・方位・地図記号などの読図に必要な基礎的知識を身に付けさせる。 ・読図から、身近な地域に関するさまざまな地理的事象に気付かせる。	知識・理解②（ワークシート） 縮尺・等高線・方位・地図記号など、地形図の基本的な決まりごとと、その意味について理解し、実際の読図に活用している。
		○分布図の魅力を知り、	・分布図の面白さを実感さ	関心・意欲・態度①（ワーク

2	3	分布図に描きたい素材をさがす。	せ、身近な地域の諸事象を分布図に表そうとする意欲を高めさせる。	シート) 身近な地域の諸事象から分布図に描きたい素材をワークシートにいくつか記入している。
	4	○いろいろな方法で調査を行う。	・読図、文献調査、聞き取り、観察などいろいろな調査方法、マナーを身に付けさせる。 ※自分が選んだ素材の観察や調査に取り組みせ、分布図を描くために必要な情報を収集させる。 ・効果的な方法を選択して、意図的に調査活動に取り組むことができるようにする。	技能① (ワークシート) 素材に関してどのような情報を収集しているかを、観察や調査で用いた縮尺の大きな地図やワークシートに記入している。
3	5	○身近な地域の地図を用いて素材に関する分布図を描き、空間的な規則性や傾向性を見いだす。	・縮尺の大きな地図を用いて素材に関する分布図を描かせ、それを基に空間的な規則性や傾向性に気付かせる。	技能③ (思考) 素材に関する分布図からどのような空間的な規則性や傾向性があるか分析している。
4	6	○分布図から見いだした空間的な規則性や傾向性を発表し、それを基に身近な地域の特色をとらえるための課題を設定する。	※素材に関する分布図から見いだした空間的な規則性や傾向性を発表させ、それを基に身近な地域の特色をとらえるための課題を考えさせる。 ・学級全体で適切な課題を複数設定し、課題毎にグループを編成する。	思考・判断・表現② (ワークシート) 身近な地域の特色をとらえるために、空間的な規則性や傾向性を基にしてどのような課題を設定できるかをワークシートに記入している。
	7			
5	8	○グループ毎に身近な地域の特色に関する課題を追究するための視点や方法を考え、調査計画を立てる。	・課題を追究するための視点を考えさせ、課題にかかわる地理的事象を成り立たせている背景や要因を予想させる。 ・予想を検証するための方法を考え、調査計画を立てさせる。	思考・判断・表現② (ワークシート) 課題にかかわる地理的事象を成り立たせている背景や要因について、地域的特色をとらえる視点に着目して予想を立て、ワークシートに記入している。
	9	○グループ毎に身近な地域の観察や調査に取り組み、課題を追求するための情報を収集する。	・グループ毎に身近な地域の観察や調査に取り組みせ、課題を追求させるための情報を効果的に収集できるよう支援する。	関心・意欲・態度① (観察) 課題解決に必要な情報を収集するため、観察や調査に意欲的に取り組んでいる。
7	10	○グループ毎に観察や調査の結果を基に予想の検証を行う。	・調査活動の結果を基に予想の検証を行わせる。 ・調査活動で集めた資料の中から、検証に必要な資料を選択させる。	思考・判断・表現③ (観察・資料) 地域的特色をとらえる視点に着目して資料を選択し、予想を検証している。
	11	○課題を追究し考察した過程や結果を整理してまとめ、発表の準備を行う。	・課題を追究し考察した過程や結果を分かりやすく工夫して、まとめさせる。 ※観察結果や統計資料などを地図化したりグラフ化したり、表現方法を分かりやすく	技能③ (観察・資料) 課題を追究し考察した過程や結果を、地図や図表にあらわすなど表現方法を工夫して分かりやすくまとめている。
	12			

			工夫させる。	
8	13	○考察した過程や結果を 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の動機と目的、調査経過と内容、分析と調査結果が明確に分かるようにまとめ、発表させる。 ・各班の発表を聞いて、身近な地域の特色とそれを追究するためのより適切な視点や方法について考えさせる。 	技能③ （観察・評価表） 身近な地域の特色に関する課題を追究し考察した過程や結果を地図やグラフなどを活用して発表している。 思考・判断③ （観察・評価表） 自他のグループの発表を身近な地域の特色を鮮明にとらえているかどうかという観点から評価している。
9	14	○身近な地域の特色をまとめ、地域の発展について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の観察や調査を振り返らせ、身近な地域の特色をまとめ、地域の発展について考えるとともに、市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを整理させる。 	知識・理解① （ワークシート） 身近な地域の特色についてどのように理解しているのかを、ワークシートに記入している。 知識・理解② （ワークシート） 市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法についてどのように理解しているかをワークシートに記入している。 関心・意欲・態度① （ワークシート） 身近な地域の特色を踏まえて地域の発展について考えたことをワークシートに記入している。

5 本時の学習

(1) 目標

天草地域の地理的特徴について、水道水に関する複数の資料の読み取りと、それらに関連させた分析を通して考え、分かりやすく表現することができる。【社会的な思考・判断・表現】

(2) 評価基準 思考・判断・表現（シート）

（基準B）天草地域の地域的特徴について複数の資料に関連させ、多面的・多角的に考え、表現できている。

（基準A）天草地域の地域的特徴について複数の資料に関連させ、多面的・多角的に考え、相手に分かりやすく表現できている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Cプロジェクトの視点	備考
導入 7分	<p>1 熊本の水道に関する地域的特徴をつかむ。 【個人】</p> <p>2 天草地域の水道料金の特徴をつかむ。 【個人】</p> <p>3 学習課題を確認する。</p>	<p>○全国的に見て熊本県の水道料金は、高いのか安いのか理由も含めて予想しよう。</p> <p>○都道府県別平均料金表を見て、予想の確認をしよう。</p> <p>○県内の他の地域に比べ、天草地域の水道料金は高いのか安いのかを予想しよう。</p> <p>○熊本県地域別平均料金表を見て、予想の確認をしよう。</p>	<p>○熊本県は全国的に見て、水資源が豊かな県であることを確認させる。</p> <p>○都道府県別平均料金表や熊本県地域別平均料金表等の資料をもとに、天草地域の課題について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県別平均料金表 ・熊本県地域別平均料金表 <p>○比較する対象をしっかりと意識させる。</p> <p>○予想の確認をさせる。</p>	<p>資料 プロ ジェ ク タ ー</p> <p>スク リ ー ン</p>
<p>【課題】 「天草地域の水道料金は、県内の他の地域に比べ、高いのはなぜだろう。」</p>				
展開 38分	<p>4 課題について考え、発表する。 【個人→班】</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>(2) 個人の考えを出し合い、考えをまとめ</p>	<p>○他の地域と何が違うのか予想してみよう。</p> <p>○予想を発表しよう。</p> <p>○それぞれの班が予想したことを、資料を使って確認しよう。</p>	<p>○水道料金の決定については、水利権や水利施設、節水への意識誘導など様々な要素があるが、ここでは、地理的条件の点から考えさせるようにする。</p> <p>○考えの広がりがないときは、「水道の水は、どこから来るのか」等の補助的な発問を行</p>	

	<p>る。</p>	<p>【資料】</p> <p>①熊本県の地形図 ②熊本県の水源となるダム ③熊本県的主要河川の分布図 ④熊本県のダム分布図 ⑤熊本県の地下水の分布図 ⑥熊本県の地域別降水量 ⑦天草地域の地形図 ⑧飲み水のできるまで ⑨熊本の名水 ⑩熊本県の地下水の現状</p> <p>○資料から読み取ったことを、分かりやすく説明するための地図資料をつくらう。 ○作った地図資料を使って、分かりやすく発表しよう。</p> <p>○発表などを聞き、天草地域の地域的特徴を考えよう。</p>	<p>う。</p> <p>○予想の確認に適切な資料を選べるよう支援する。 ※複数の資料を関連させて説明できるように支援する。</p> <p>【評価：思考・判断・表現(シート)】 〈B基準に達しない生徒への手立て〉 机間指導をこまめに行い、個に応じた支援を行う。</p> <p>※資料を比較・関連させ新たな情報として地図資料をつくるよう支援する。</p> <p>※各班が発表した内容を、資料から読み取ってつくった新たな情報として活用させる。</p>	<p>資料</p> <p>発表用シート</p> <p>実物投影機 プロジェクター スクリーン</p>
<p>整理 5分</p>	<p>6 学習のまとめを行う。 【個人】</p>	<p>○今日、学習したことを振り返らう。</p>	<p>○学習中、考えたことなどを振り返らせる。</p>	<p>シート</p>